



学力UP便い



令和6年12月17日(月)

第5号

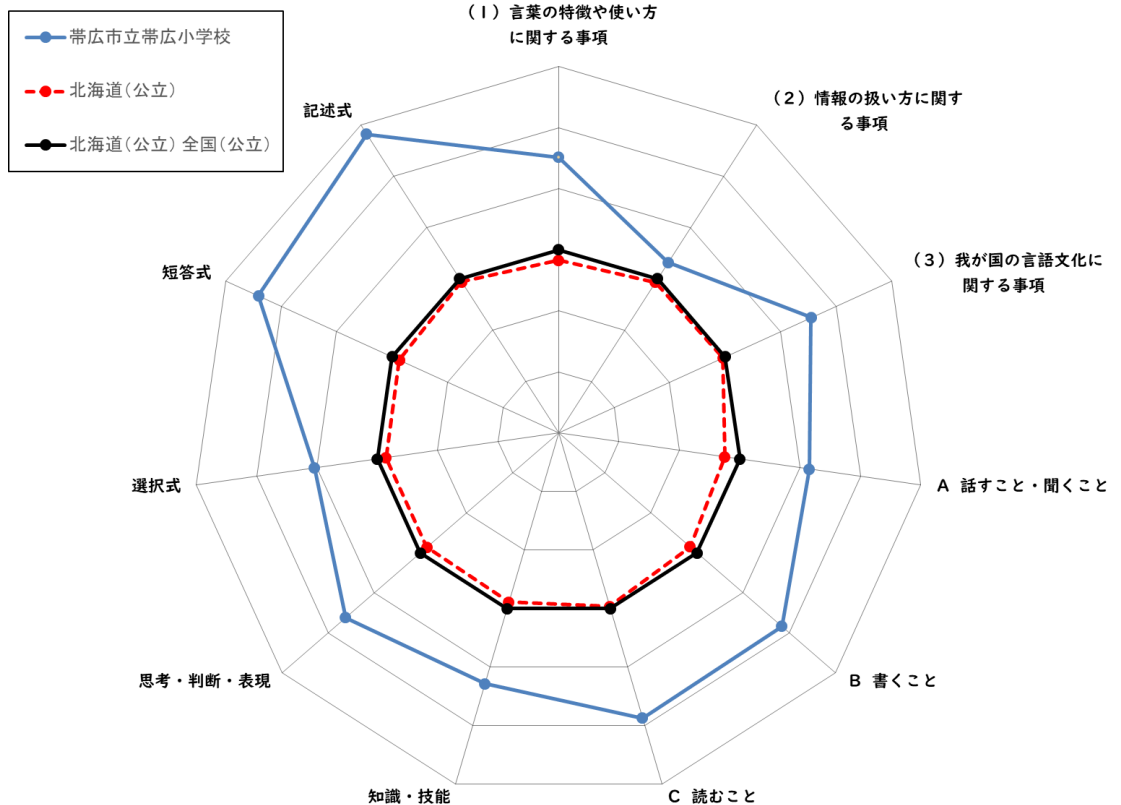
発行：教務部

全国学力・学習状況調査の結果から



4月18日に全国学力・学習状況調査を実施しました。義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的として行う学力調査です。このほど、全国平均などの結果の詳細が文部科学省から公表されました。このお便りでは、本校児童の結果を受けて、学力や学習状況の一端について紹介させていただきます。子どもたちが、今後も主体的に学習を進めていくためのヒントを学校とご家庭で共有できたらと考えております。

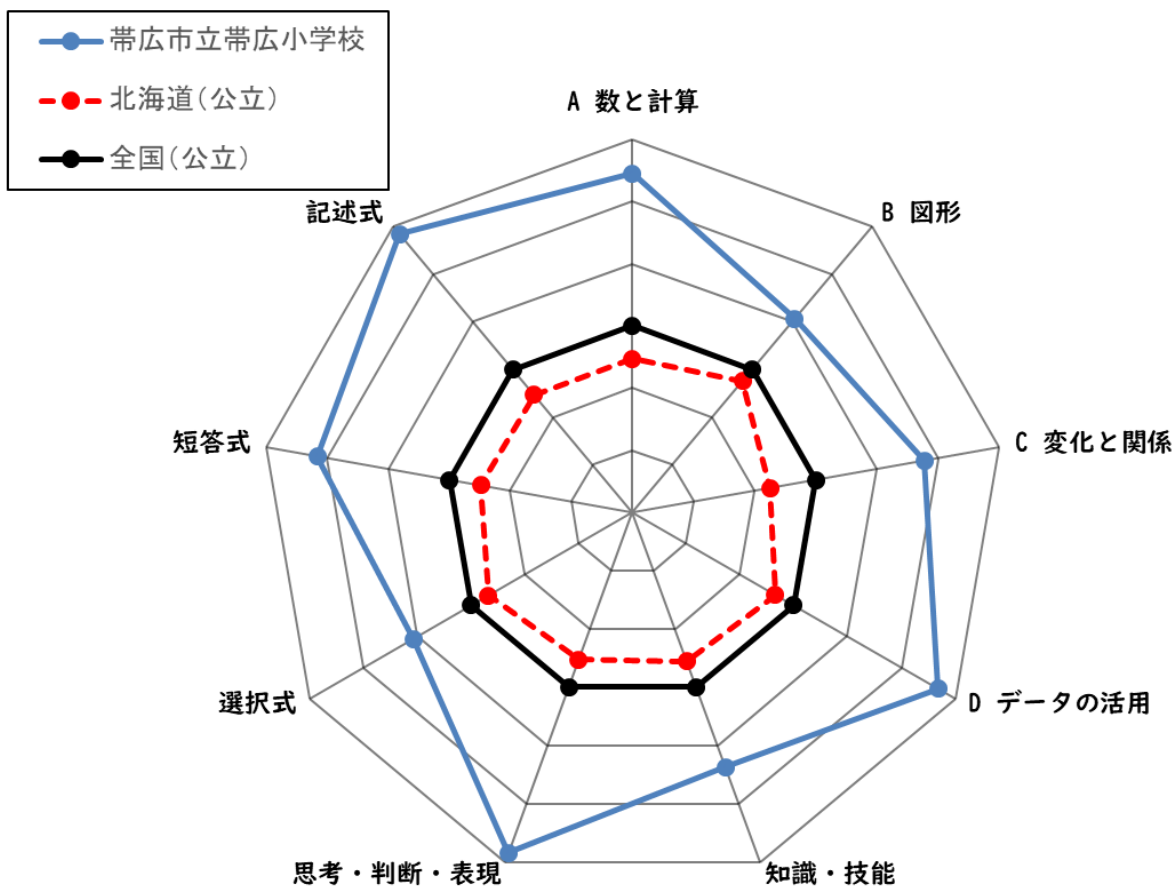
【国語】



国語は、全国の平均正答率を大きく上回る結果となりました。特に「読むこと」の領域において、「人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるかどうかをみる」を出題の趣旨とした設問において、全国の平均正答率を大きく上回りました。解答用紙からは、文字数の条件を達成するための努力の跡が見られ、登場人物の行動や会話、様子、相互関係などを手掛かりに総合的に判断し、自分の考えを表現することができている様子が見られました。

課題としては、「資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる」問題では全国の平均正答率とほぼ同じ結果となりました。自分の考えが伝わるように表現をするためには、相手の目的や反応を意識し、状況に応じて表現を工夫することが大切です。今後も、自分の考えと相手の考えを比較しながら話す活動や、意見を求められたときに自分の考えをまとめて話す活動を積極的に授業に取り入れていくことを心がけていきます。ご家庭でも、たくさん会話をしたり、本を読んだりする機会を増やしていただけるようお願いします。

【算数】



算数も、全国の平均正答率を大きく上回る結果となりました。「思考・判断・表現」の観点で全国の正答率を大きく上回っており、基礎・基本の定着がしっかりとできていることが分かります。また、「数と計算」の領域においても全国の平均正答率を大きく上回る結果となりました。「問題場面の数量の関係を捉え、式に表すことができるかどうかをみる」問題は、示された数直線から数量の関係を適切に判断し、正しい数直線を選ぶことができていました。

一方で、「示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察すること」の設問に課題が見られました。また解答用紙からは、式や言葉を使って説明する問題において、式は書けているけれど言葉での説明が書けていない解答、情報量が多くなると一部分だけの情報で判断してしまい、答えが条件と合わなくなってしまっている解答が見られました。算数に限らず、問題の中から必要な情報を精査するというところにじっくりと時間をかけて取り組んだり、児童の誤答を生かし、全体で考える機会を設けたりする場面を日々の授業で意図的に取り入れていきます。また、習熟度別少数指導、学習規律やノート指導、学習習慣の確立を目指す宿題など、本校がこれまで行っている学力向上の取組も引き続き進めていきます。

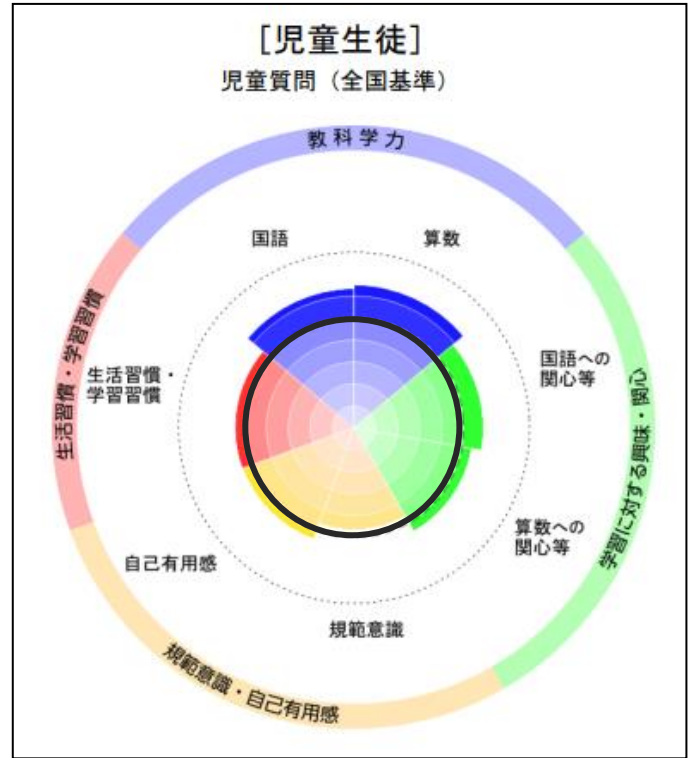
【質問紙調査】

全国学力・学習状況調査では、国語、算数の学習調査のほかに、学習に対する興味・関心や、学習・生活習慣、規範意識などについてアンケート形式で答える「質問紙調査」が実施されています。

右のグラフの見方ですが、色のついている部分が、本校児童の質問紙の結果です。色の部分とおおむね重なっている、円を描いている黒色の線が全国平均値です。

学力（青い部分）と学習に対する興味・関心（緑の部分）は、国語と算数は全国平均値を上回っています。しかし、学力では国語よりも算数の方が高いのに対し、学習への興味・関心は、国語よりも算数への興味・関心が本校の児童は若干低く、学力と興味・関心が逆転していることが分かります。黄色で示されている「規範意識」は全国平均を下回る結果となりました。

その中からいくつか紹介します。



「している」「あてはまる」と回答した割合の全国との比較

- ▲大きく上回っている（5%以上）
- △上回っている（5%未満）
- ▽下回っている（5%未満）
- ▼大きく下回っている（5%以上）

学習習慣・生活習慣

- △朝食を毎日食べている。
- △家で自分で計画を立てて勉強している。
- ▽毎日同じくらいの時刻に起きたり寝たりしている。
- ▼スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束をして守っている。

規範意識・自己有用感

- ▲先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。
- ▲いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。
- ▲人の役に立つ人間になりたいと思う。
- △将来の夢や目標をもっている。
- ▼自分には、よいところがあると思う。

学習に対する興味・関心

- ▲国語・算数の勉強は大切だと思う。
- ▲国語の授業内容はよくわかる。
- △算数の授業内容はよくわかる。
- △国語・算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。
- △国語の勉強は好きだ。
- ▽算数の勉強は好きだ。

地域や社会に関わる活動

- △地域や社会をよくするために何かしてみたいと思うか。

以上、学力調査、質問紙調査についての結果をお示ししました。そこで、本校は次のように取り組みます。

学力向上に向けた取組

学校では・・・

- ☆「わかる楽しさ、できる楽しさ」を実感させ、基礎・基本の確実な定着を目指します。
- ☆学力の定着度や各種テストの結果の分析と課題の共有化を図り、授業改善に役立てていきます。
- ☆習熟度別少人数指導の充実を図ります。
- ☆ICT 機器を効果的に活用し、子どもたちの主体的な学びにつなげていきます。
- ☆朝学習では全教員が全学級に入室し、児童の実態に応じた補充学習を行います。
- ☆宿題の提示や、家庭学習への取組の充実を図ります。
- ☆「学力UP 便り」を発行し、家庭との情報の「交信」を意識した取組を推進します。

ご家庭では・・・

☆生活習慣の見直し

- ・朝食を摂り、就寝時刻、起床時刻を決めて、毎日継続しましょう。

☆学習時間の確保

- ・目標は「学年×10分+10分」です。時間帯を決めて毎日継続しましょう。家庭での学習時間が長いほど、平均正答率が高い傾向が見られます。
- ・子どもが自ら学習計画を立てて実行することが大切です。子どもが家庭学習の計画を立てて取り組む姿を見守り、応援して、子どもの自主性を育てましょう。

☆メディア利用のルール作り

- ・スマートフォンやゲームをする時間の約束を家族と一緒に決め、一日の時間を大切にすることを育てましょう。

☆心が触れ合う時間の確保

- ・がんばってできたこと、挑戦しようとしたことを認めて、ほめ、子どものやる気を育てましょう。

(参考資料) 北海道教育委員会「北海道の子どもたちの健やかな成長を願って」

本校では、子どもたちの成長を願い、今後も職員が一丸となって指導を進めていきます。しかし、子どもたちが健やかに育っていくためには、ご家庭の協力が欠かせません。今後とも本校の教育活動へのご理解・ご協力をお願いいたします。

*帯広市の結果も、帯広市教育委員会から公表されています。関心をおもちの方は、市のホームページなどでご覧いただけますので、ご参照ください。